

2024年7月24日

各位

小野薬品工業株式会社
ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社

国内承認から10年、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）を用いたがん免疫療法の現状 がん治療に携わる医師、がん患者さんを対象に調査を実施

小野薬品工業株式会社（大阪府中央区）とブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社（東京都千代田区）はこのほど、免疫チェックポイント阻害薬（ICI）^{※1}の国内承認によるがん免疫療法の誕生から10年の節目を迎えたことから、同療法に対する現状評価を把握するため、がん治療に携わる医師100人、がん患者さん900人を対象にオンライン調査を実施しました。

調査対象となった医師の9割が「新たながん治療の選択肢」としてICIによる治療を評価したほか、ICIによる治療を受けたことのある患者さんの約7割が「治療選択肢が増える」「がん患者にもっと広く知られて欲しい」とICIによる治療を評価しました。また、医師・患者さんともに約半数が、今後のICIについて「治療効果の向上」に期待を寄せていることもわかりました。

一方で、がんの免疫療法と呼ばれる療法の中には、治療効果や安全性が科学的に証明されていない療法もあります²。がんの免疫療法についての情報が混在することで、治療を検討する患者さんが困惑してしまう可能性もあり、より広範かつ信頼性の高い医療情報を提供することの必要性も浮き彫りになりました。今回の調査では、約4割の医師が「がん免疫療法と称する、エビデンスのない情報への厳格な監査・措置」「がん免疫療法と称する、エビデンスのない医療行為への厳格な措置」が必要と回答し、「ICIに関してがん患者が正しく理解できる情報」を6割を超える患者さんが希望していることも、本調査結果から明らかになっています。主な調査結果は以下の通りです。

医師調査結果の概要

9割の医師がICIを新たながん治療の選択肢として評価し、今後期待することとして約5割の医師が「治療効果の向上」と回答

- 90%の医師が、「がん治療の選択肢として地位を築いた」、8割以上が「さらなる発展を期待したい治療法である」「患者さんに正しく理解して欲しい治療法である」など、がん治療の新たな選択肢としてICIによる治療を評価。（参考データ集：医師調査「①ICIへの評価」）
- 今後のICIへの具体的な期待として、約50%の医師が「化学療法や放射線療法など他の治療法との併用で治療効果が向上すること」「効果が出る患者さんが増えること」と回答。（参考データ集：医師調査「②ICIについて今後期待すること」）

約4割の医師ががん免疫療法と称するエビデンスのない治療への措置が必要と回答。正しい理解のため、3割強の医師が「正しく理解できる」「広く知らしめる」情報提供を求めている

- がんの免疫療法と呼ばれる療法には、治療効果や安全性が科学的に証明されていない療法もある中で^{※2}、約40%の医師が「がん免疫療法と称する、エビデンスのない情報への厳格な監査・措置」「がん免疫療法と称する、エビデンスのない医療行為への厳格な措置」が必要だと思うと回答。（参考データ集：医師調査「③ICIによる治療のさらなる浸透のために必要だと思うこと」）
- また、30%以上の医師が「正しく理解できる」「広く知らしめる」患者さんへの情報提供だけでなく、患者さん以外の生活者にも認知を広げることが求めている（参考データ集：医師調査「④ICIの情報提供について感じていること」）

患者調査結果の概要

ICI 使用経験のある患者さんの約 7 割が、自身の ICI 治療を評価

- ICI 使用経験のある患者さんからは「治療の選択肢が増えてうれしい」（68%）など、ICI 治療を評価するほか、「がん患者にもっと広く知られて欲しい」（68%）と他の患者さんにとっても新たな治療の選択肢になることを期待する声もあった。（参考データ集：がん患者調査「①ICI への評価」）

患者さんの約半数が、今後の ICI について「治療効果の向上」や「生活の質の維持」に期待

- ICI 使用経験の有無にかかわらず ICI を認知している患者さんが「ICI に今後期待すること」は、「転移性のがんに対しても効果を発揮し、転移を制御または減少させること」（51%）「副作用が発生しても管理がしやすく生活の質を大きく損なわないこと」（51%）「効果が出る患者が増えること」（49%）など。（参考データ集：がん患者調査「③ICI について今後期待すること」）

がん免疫療法の詳細に関する認知割合は、ICI の使用経験の有無により 10 ポイント超の差。がん免疫療法と称する民間療法が多いことを知っているのは、20 ポイント超の差

- 「がん免疫療法」を知っていると回答した患者さんでも、ICI の使用経験の有無によって「がん免疫療法は免疫の力を利用してがんを攻撃する治療法だ（ICI 使用経験者 80%/ICI 未使用経験者 64%）」「医学的に効果が認められているがん免疫療法は今やがんの一般的な治療法の 1 つとなっている」（同 73%/同 42%）と詳細認知に 10 ポイント以上の差があるだけでなく、「がん免疫療法と称するエビデンスのない民間療法も多い」（同 64%/48%）についても ICI 使用未経験者で詳細認知割合が下回る。（参考データ集：がん患者調査「④がん免疫療法の認知に関する自己認識」「⑤がん免疫療法の詳細に関する認知状況」）

患者さんの半数以上が、ICI について「がん患者が正しく・広く理解できる情報提供」を望む

- ICI 使用経験の有無にかかわらず ICI を認知している患者さんが「ICI の情報提供について今後期待すること」として、「ICI についてがん患者が正しく理解できるような情報提供」（61%）のほか、51%が「ICI についてがん患者が広く知ることができるような情報提供」「患者に限らず一般生活者が ICI について正しく理解できるような情報提供」を挙げた。（参考データ集：がん患者調査「⑥ICI の情報提供について今後期待すること」）

調査概要

【調査実施期間】2024 年 6 月 21 日～6 月 28 日

【調査対象】医師：ICI 適応がん腫いづれかに関連する診療科で全身化学療法によるがん治療経験のある医師（病床数 200 床以上）100 名、患者さん：①20～70 代の ICI によるがん治療の経験者 200 名/②20～70 代の ICI 適応のがん腫だが ICI での治療は未経験のがん患者さん 700 名

【調査手法】：オンライン調査

※1 免疫チェックポイント阻害薬（ICI）について

免疫細胞の働きを抑制する「免疫 チェックポイント」を阻害することで、がん細胞に対する免疫を活性化・持続させる治療薬。がん治療には「手術療法」「化学療法(抗がん剤治療)」「放射線療法」があり、さらに ICI が 2014 年に国内承認された。国内では現在 8 種類の ICI が承認、使用されている。

※2 出典：国立がん研究センターがん情報サービス（参照日：2024 年 7 月 17 日）

https://ganjoho.jp/public/dia_tre/treatment/immunotherapy/index.html

以上

本件に関するお問合せ先

ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

コーポレート・アフェアーズ

Email: ca@bms.com

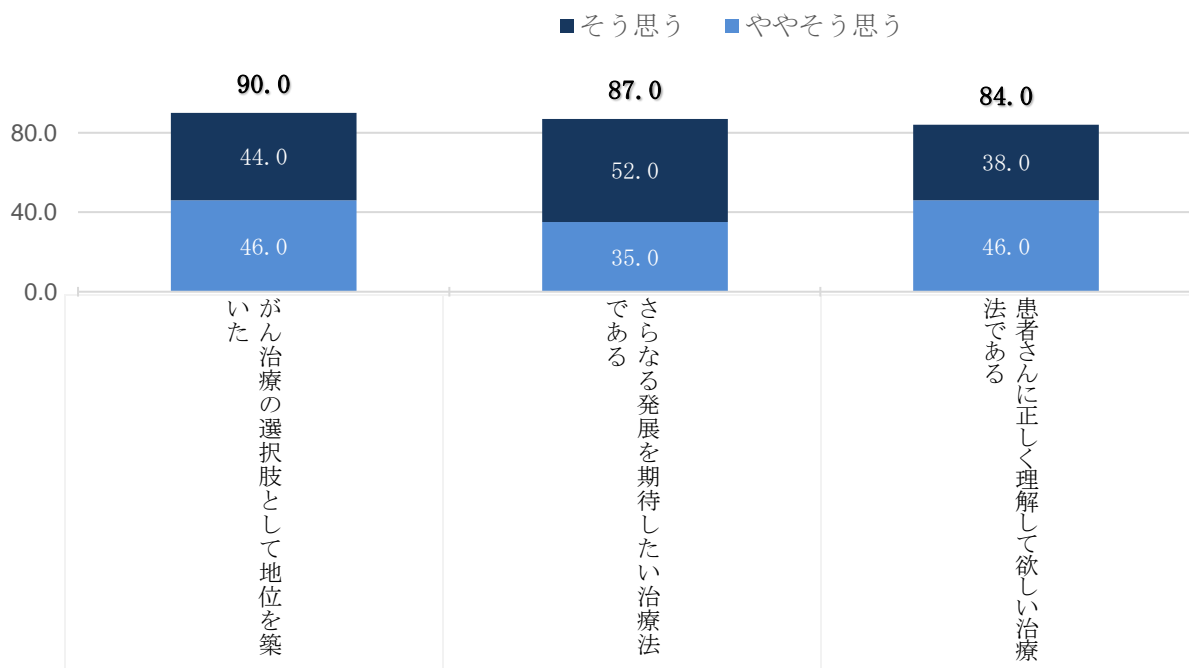
■医師調査結果

① ICI への評価（あてはまる+ややあてはまる計）

Q. 免疫チェックポイント阻害薬が日本で認可され、今年で 10 年となります。免疫チェックポイント阻害薬についての先生の現在の評価をお知らせください。

※回答が多かった上位項目

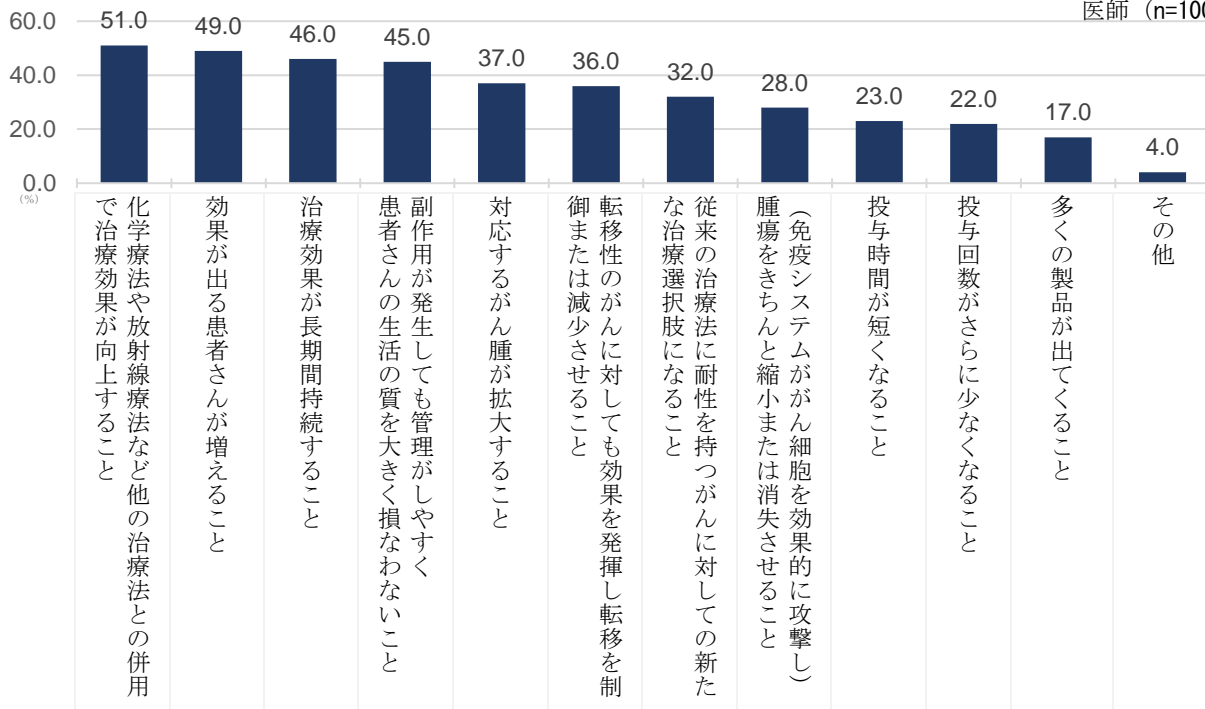
医師 (n=100)



② ICI について今後期待すること（複数回答）

Q. 先生が免疫チェックポイント阻害薬へ今後期待することをお知らせください。（いくつでも）

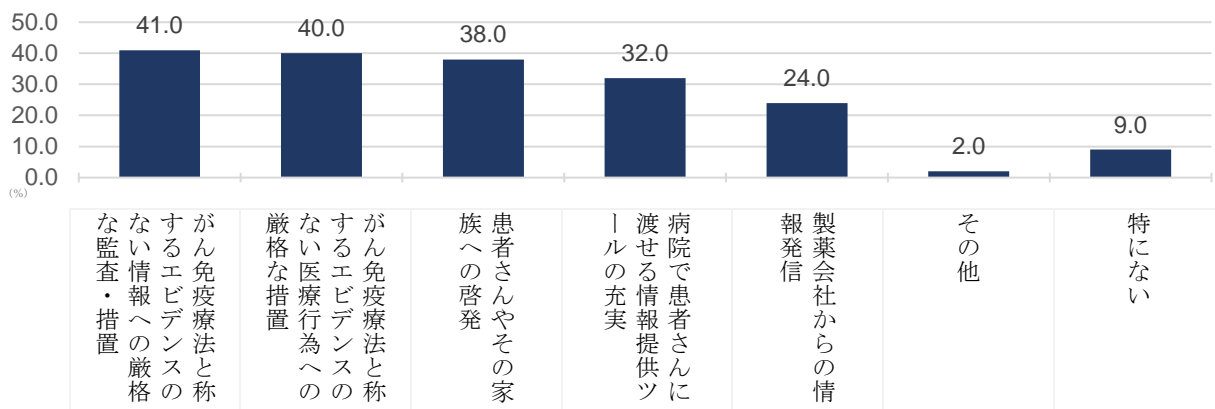
医師 (n=100)



③ ICIによる治療のさらなる浸透のために必要だと思うこと（複数回答）

Q. 免疫チェックポイント阻害薬による治療のさらなる浸透のために、必要だと思うことをお知らせください。（いくつでも）

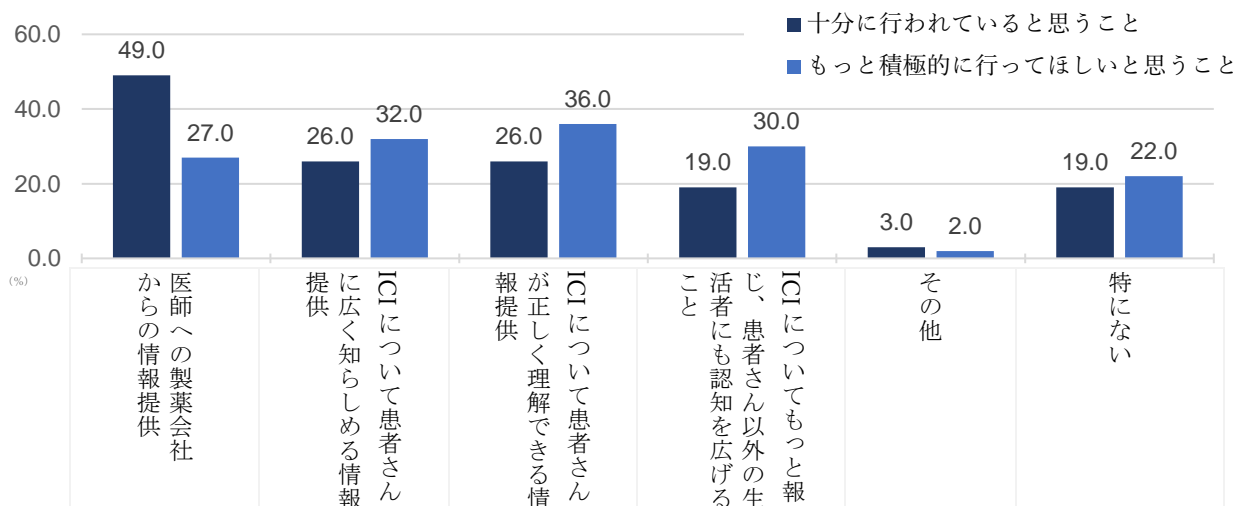
医師（n=100）



④ ICIの情報提供について感じていること（複数回答）

Q. 先生が免疫チェックポイント阻害薬に関する情報提供において感じられることをお知らせください。（いくつでも）

医師（n=100）

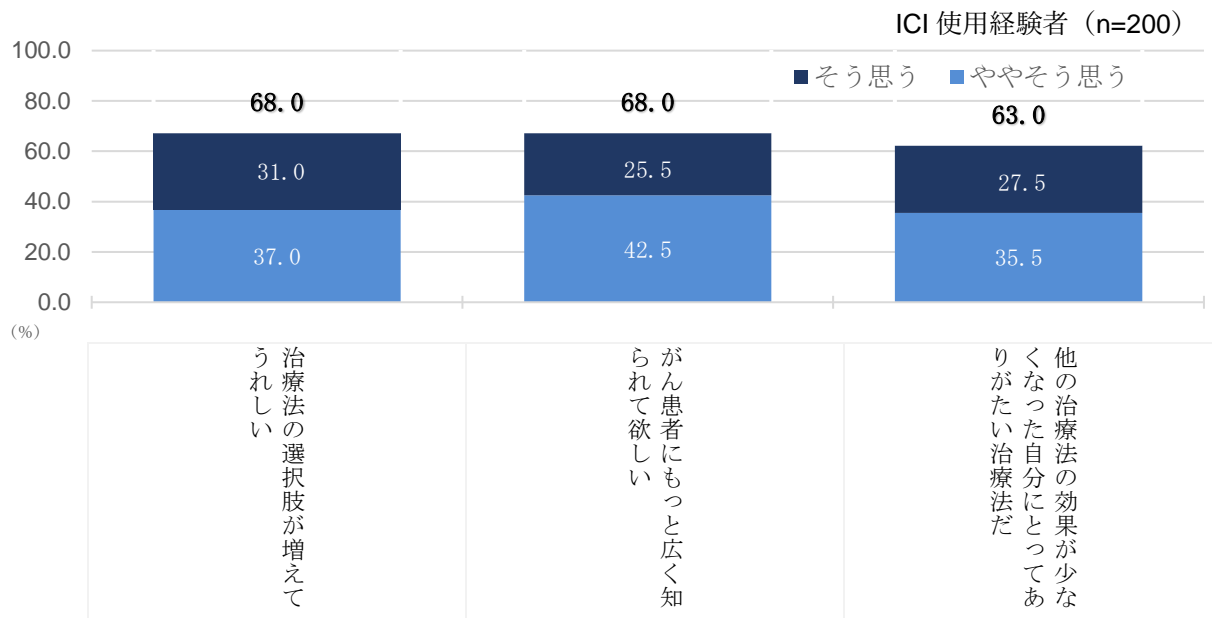


■患者調査結果

① ICI への評価（そう思う+ややそう思う計）

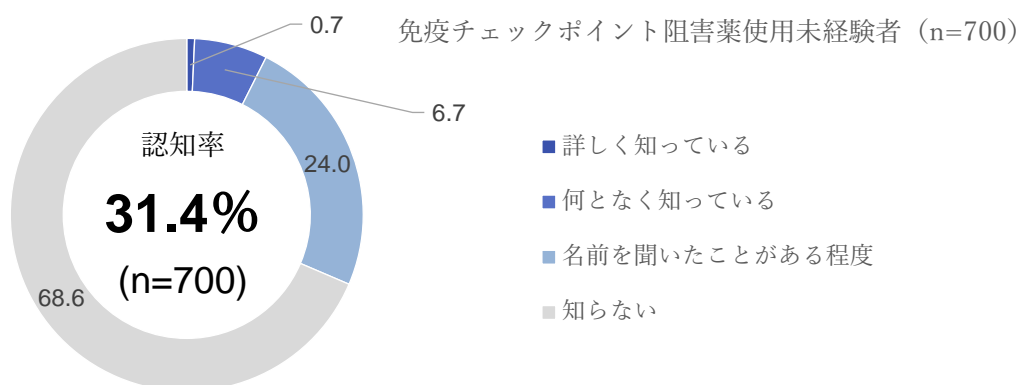
Q. 免疫チェックポイント阻害薬による治療を、あなたはどう評価されていますか。

※回答が多かった上位項目



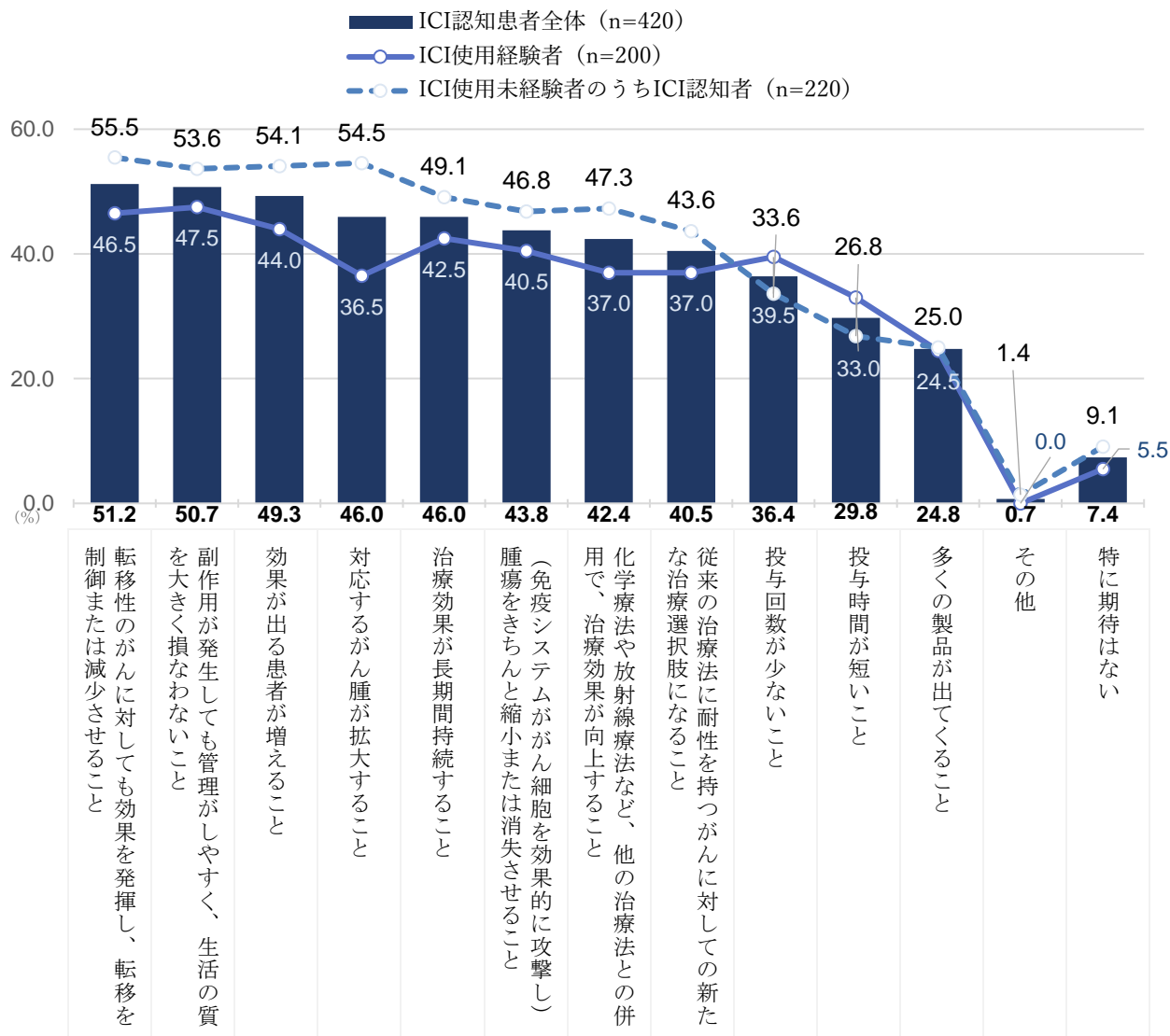
② ICI の認知状況（ICI 使用未経験者）

Q. 「免疫チェックポイント阻害薬」についてお聞きします。あなたは、「免疫チェックポイント阻害薬」をご存じですか。



③ ICIについて今後期待すること

Q. 「免疫チェックポイント阻害薬」の使用経験がある方、および「免疫チェックポイント阻害薬」をご存じの方にお聞きします。あなたが免疫チェックポイント阻害薬へ今後期待することをお知らせください。



④ がん免疫療法の認知に関する自己認識

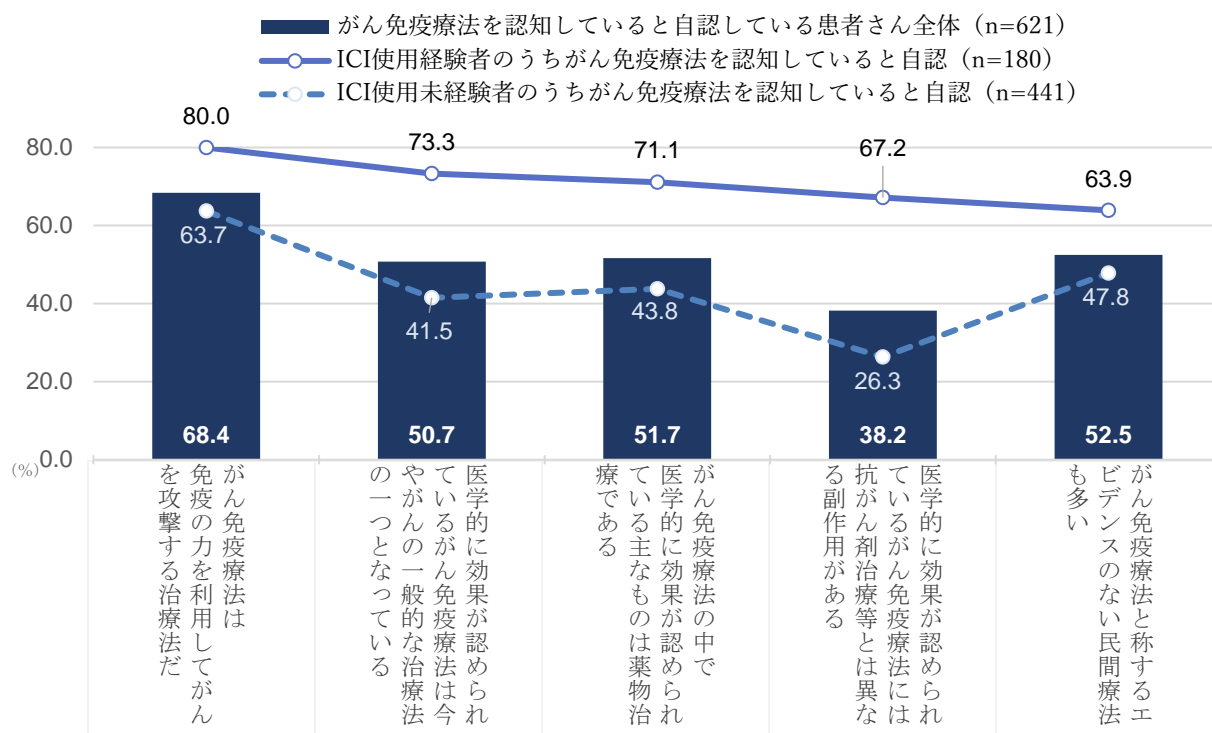
Q. あなたは、「がん免疫療法」をご存じですか。なお、ここで言う「がん免疫療法」とは、あなたがそうご認識されている治療法全てを指します。

	認知計				
ICI 使用経験者 (n=200)	30.5	31.5	28.0	10.0	90.0% (n=180)
ICI 使用未経験者 (n=700)	2.9	9.6	50.6	37.0	63.0% (n=441)

- 複数のがん免疫療法を知っている
- 知っているがん免疫療法がある
- 知っているという程ではないが、名前を聞いたことがある
- 知らない・聞いたことがない

⑤ がん免疫療法の詳細に関する認知状況

「がん免疫療法」について、あなたは下記のことをご存じでしたか。



⑥ ICIの情報提供について今後期待すること（複数回答）

Q. 「免疫チェックポイント阻害薬」の使用経験がある方、および「免疫チェックポイント阻害薬」をご存じの方にお聞きします。あなたが免疫チェックポイント阻害薬の情報提供について今後期待することをお知らせください。

